

「(公的) 審査委員だよ Re:」 No. 1 9

民生労災委員長 森下輝弘

7月17日(日)に(公社)大阪府鍼灸師会と(一社)鍼灸保険協会大阪共催の「療養費取扱適正強化講習会」が行われました。

注意すべき主要な点について下に記載いたします。

本講習については後日、アーカイブ配信が設けられますので、是非とも受講されますようお願いいたします。

療養費の一部負担金について

☆日々の窓口での患者一部負担金は一円未満は四捨五入

☆支給申請書の一部負担金は一円未満は切り上げ

☆一部負担金明細書の一部負担金の額は、領収金額と一致する必要があり、実際に患者より受領した金額の合計を記入
(申請書に記入される一部負担金の額とは異なる場合があります)

生活保護法等指定施術機関の事務手続きについて

○ 開設者でない施術者も施術所の所在地で指定していましたが、
令和4年4月1日より施術者等の住所地を所管する自治体での指定となりました。

☆開設者は今まで通り施術所の所在地

☆従事者(勤務者)は住所地

☆開設者であり、他施術所にも勤務している場合は開設が優先

☆法人が開設者の場合全員が勤務者扱い

☆出張専門の者は開設者扱い(名称は出張専門)

※新規、変更時に適応(変更の無い人はそのまま良い)



民生労災委員会では保険取扱での困難事例のデータ集積をしています。

現在や過去に、健保・生保・労災・自賠責等の保険での取り扱いを行うにあたり、困難事例や障害などスムーズに取り扱えない事例がございましたら、ホームページに「保険取扱困難事例集積フォーム」を作成していますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

日	公益社団法人 大阪府鍼灸師会			5. 議長団選出	久保理事：各事業計画についての資料訂正
	令和4年度(第59回)定時会員総会 議事メモ			会場より司会者一任の声あり司会者より指名議長に中央地域	(資料P.17)〔公2〕介護予防鍼灸師講習会及びスポーツ系講習会
場	時	令和4年5月29日(日)14時30分～15時30分	中川先生、副議長に河北地域 中谷先生		は別日程で開催
司	所	マイドームおおさか 8階 第1・第2会議室	議長団登壇 挨拶		→「介護予防講習会鍼灸師及び」を削除
	会	副会長 南 治成	定足数の確認		その他事業計画については資料の一読をお願いします。
議事録作成人	理事	廣橋 久美子	会員総数 486 名、出席者数 32 名、		(3) 予算
	出席理事	得本誠 富永礼子 南治成 堀口正剛	委任状数 132 名		議長：続きまして予算について北川理事お願い致します。
		久保俊仁 北川肇	議決権行使者数 112 名、出席者総数 276 名		北川理事：(資料P.21～24)
		荒木善行 柴山忠宏 永澤至子 吉村春	過半数を満たしておりここに本総会成立を宣言致します。		令和4年度収支予算書、経営収益計と経常費用計の数字の確認。
		清藤直人 三宅なつえ 喜多伸治 森下輝弘	7. 議事録署名人		赤字予算となっている。公益法人として収支相償、公益目的事業比率は問題ありません。
		廣橋久美子(順不同)	得本会長 中川議長		議長：令和4年度事業計画及び予算についてご意見ある方は
欠席理事		丹波徹二	議長：異議はございませんか		挙手をお願い致します。
出席監事		浜田暁 浅井和俊	議場：異議なし		池邊先生：現状を見ると会員不足による赤字が予測されるが補填は
総会資料の修正箇所確認。物故会員は3/31までに報告のあった			8. 報告事項		どうするのか？
もののみを資料に記載。以降の記載は来年度である旨を伝える。			■令和3年度事業報告の件		南副会長：本会の事業で各委員会の予算消化を積算していく
物故者への黙祷			議長：令和3年度事業報告の件久保理事お願い致します。		と、実際に活動を削ることが多い。赤字体質を決して軽視し
堺地域	高石宮子先生	(令和3年6月23日没 享年93歳)	久保理事：(総会資料P.6)		ているわけではなく大きな課題であり、常に議論をしてる
河南地域	北野秋子先生	(令和3年11月14日没 享年96歳)	(1) 運営方針の確認		内容である。後ほど詳細について対処します。
堺地域	福田アサエ先生	(令和3年12月23日没 享年96歳)	(2) 各事業報告		議長：他に質問がないようなので決議事項に移りたいと思い
東大阪地域	川上一枝先生	(令和4年1月8日没 享年94歳)	久保理事：総会資料6～14頁に令和3年度事業報告の記載が		ます。
豊中地域	奥田功先生	(令和4年3月9日没 享年79歳)	あります。		9. 決議事項
1. 開会の辞 副会長 富永 礼子			議長：令和3年度事業報告の件でご質問のある方は挙手をお願い		第1号議案 令和3年度 決算報告及び監査報告の件
只今より令和4年度第59回公益社団法人大阪府鍼灸師会定時			致します。		議長：決算報告に関しまして北川理事お願い致します。
会員総会を開催致します。			議場：特になし		北川理事：(資料P.25～31)
2. 会長挨拶 会長 得本 誠			■令和4年度事業報告の件		令和3年度の収支に関して公益法人の財務3基準「収支相償・
感染力が弱くなったコロナウイルスですが、未だ感染者は増加			議長：令和4年度事業計画及び予算の件運営方針を久保理事お願		公益目的事業比率・遊休財産学保有制度」について、いずれ
するという予測もある。来年度近畿ブロックで日本鍼灸師会全			い致します。		についても問題はありません。
国大会を引き受けることとなり、大阪が立候補をすることにな			久保理事：令和4年度事業報告(総会資料P.16)		議長：決算報告に関してのご意見あるかたはいらっしゃいま
った。自身はあと一年で引退予定にしており、1年必死に動い			(1) 運営方針		せんか。ないようですので続いて、監査報告についてお願い
ていこうとしているが、若い先生方の理事への就任も望んでい			運営方針の4つ目(下線部)に昨年度からの変更あり		します。
る。今日は最後までよろしくお願いいたします。			1. 公益社団法人としての質の向上		浜田監事：浅井監事と2名でこの1年の監査を行いました。
3. 生涯研修制度認定顕彰者			1. 府民への鍼灸の普及啓発事業の充実		いずれも法令・定款に則っており、適正に処置されております。
生涯研修修了書、中川欣久殿。あなたは令和3年度大阪府鍼灸			1. 研修事業の充実		(資料P.32)
師会生涯研修制度に参加され、東洋医学の知識と技術の研鑽に			1. 組織の強化と財務基盤の確立		議長：改めまして、第1号議案決算報告と監査報告について
努められましたのでここに賞状を授与します。			1. 鍼灸関連制度改革の推進		質問はありませんか。ないようなので、ご承認いただける先
4. 顧問紹介			(2) 各事業計画		

生は挙手をお願いします。賛成多数で承認されました。

■質問事項

久保理事：質問事項3点が届いております。

1. 泉大津地域 会員A 先生より

・年代別会員数を示してほしい

久保理事：年代別を一覧にした表を作成し、配布。

フロアのA 先生より追加質問あり

A 先生：今回の財務諸表を見て本会を運用するために必要な適正会員数は何名ですか。また、会員数の減少傾向についてどう考えているのか。5年後10年後は？

南副会長：事業継続に必要な人数として600名を目指していきたい。50～60代がボリュームゾーンとなっており、20年後には引退していく。若手が不足しているという現実
は存続危機でもある。大阪では準会員制度を設けており、準会員から正会員へ全員が移行してもらえる仕組みづくりを展開している。楽観視はできないが5年後には横ばい、10年後には上昇に転じることを期待して活動している。

A 先生：他会との違い、入会の動機付けになる具体的な案はありますか。

南副会長：入会金・年会費の検討案が出されることも多いが、過去に会費を下げ会員数が増えるという実績はなかった。入会したからこそ患者数が増えるという、目に見える利益が必要。そのために利用者が研修事業に参加し勉強している先生を選ぶよう誘導するといった仕掛けを考えている。

A 先生：擦過鍼の事業継続はしていくのか。

南副会長：日本擦過鍼協会自体の活動は継続している。大鍼会とのコラボレーション事業は一定度の成果を得たということで今回は事業から削除している。

2. 泉大津地域 会員B 先生より 鍼灸師の立ち位置について

南副会長：鍼灸師はその時々によって医療従事者として扱われたり、そうでなかったりする。原因として医療法では医療従事者ではなく、社会通念上では医療従事者としての扱いをされているためである。厚労省「広告のあり方検討委員会」において、鍼灸は「治療」ではなく「施術」という表現を用いている。疾病の寛解治癒を目的に施術することを日本語で表現するならば「治療」ではないのかと反論したが、明確な回答はなかった。行政官からは「鍼灸師が専門職や保険者から信頼を勝ち得ているかが大きな問題点ではないか」との指摘があった。現在受療率が4％という点を考えると、業界内だけの判断ではなく、客観的にはどういう評価を得ているのかに目を向ける必要がある。鍼灸師と世間の認識、国内での立場、現状そこには大きな齟齬がある。各個人の資質について問題はないと考えるが、業界として電子カルテ申請もなく他の医療従事者や地域医療の中に入り共通言語で話ができる状況とは言えない。資質の問題、世間からの評価、法整備の問題が複雑にからまり現在の状況を作っているということを理解していただきたい。では、対策としてどうするのか。

国会議員へのアプローチ、医療従事者団体の懇談会や協議会への出席や資料提供や議論継続、厚労省に対して日本の伝統医療政策や位置づけをどうしていくのかの詰問、等々、引き続き各種団体へのコンタクトは取り続けている。日鍼会としては伝統医療の先進国として、貧者の医療である鍼灸を海外へ普及させたい。そのためにも海外からの支援者を作ることが必要とされ調査を進めている段階である。社会保障費の削減が必要とされる日本の行政に対して、予防医学を得意とする鍼灸師が関わることでの有用性をどれだけ示せるのか、電子カルテ化しビックデータを解析し数字で示す必要がある。今後の展望について。電子カルテ化されデータ収集が可能となり、解析から鍼灸がどの疾患にどれだけの効果があるのか、医療費削減を担うに有効な医療であるのかが明確となれば、あはき法の法整備がなされるであろう。医師や他の医療団体とも連携するためにはその要望に耐えうるだけの人材を確保する必要があり、会における研修事業なども鍼灸師の質の担保を保証するものとして必要な事業である。諸々の活動各方面からアプローチは全てリンクするものとみなし中央団体と地方団体は活動が続けているが、その効果が現れるのはまだ先になるであろう。

3. 茨城地域 会員C 先生より 理事への立候補規定について

久保理事：理事会で議案に挙げ検討します。

議長：皆様のご協力により、滞りなくすべての議案審議が終了いたしましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

議長団降壇

10. 閉会の辞 副会長 堀口 正剛

これをもちまして令和4年度第59回定時会員総会を閉会致します。ありがとうございました。

令和4年度 第3回理事会 議事メモ

1. 日 時 令和4年7月10日（日） 10時00分～

2. 場 所 大阪府鍼灸師会会館 4階会議室

3. 司 会 理 事 久保俊仁

4. 議 長 会 長 得本 誠

5. 議事録作成人 理 事 廣橋久美子

出席理事：得本誠 富永礼子 南治成（Zoom）久保俊仁 永澤至子

吉村春生 清藤直人 喜多伸治 森下輝弘 北川肇

三宅なつえ 柴山忠宏 廣橋久美子

（順不同）

出席監事：浜田暁 浅井和俊

欠席 ：堀口正剛 荒木善行 丹波徹二

（次第）

I. 開会の辞 副会長 南 治成

II. 挨拶 会 長 得本 誠

III. 報 告 正副会長活動報告・日鍼会活動報告・委員会報告

【正副会長活動報告】

得本会長より ：6/12 日鍼会通常代理人総会へ出席

7/7 正副会長会議に出席

富永副会長より：得本会長と同様

南副会長より： 7/7 正副会長会議に出席

【日鍼会活動報告】

南副会長より ：7/9 AcuPopJ の運営委員に出席。4団体での研修内容統合または撤廃について1年かけて検討予定 公益事業比率と有休財産についての報告

【委員会報告】

■法人管理委員会（久保理事）

・令和4年度総会議事録について大阪府（認定等委員会）に報告

・7月7日 第3回正副会長会議 理事会

・日鍼会全国大会に向けての討議 会場は現時点で未定

・7月23～24日 理事監事地域代表一泊研修会出席確認

・9月24～25日 近畿ブロック会議 参加者予定者報告

■研修委員会（荒木理事にかわり清藤理事）

・6月3日（金）全日本鍼灸学会諮問委員会（WEB 出席）

・6月4日（土）～5日（日）全日本鍼灸学会学術大会

・6月6日（月）全日本鍼灸学会近畿支部学術委員会（WEB 出席）

・6月12日（日）霊枢勉強会：会館受講 19名 WEB 受講 30名

計 49名

（内訳：会員 12名 関係団体 13名 会員外 15名 学生 9名）

・6月16日（木）日鍼会 NELS 事務局へ6月度単位取得を申請

・6月24日（金）7月度学術講習会 Zoom 打合せ（荒木・清藤・講師）

・7月1日（金）7月度学術講習会 Zoom 打合せ（荒木・清藤・講師）

（その他報告）

・令和3年度東洋療法研修試験財団生涯研修修了書交付（32名）

■地域ケア推進委員会（永澤理事）

・日鍼会の機能訓練指導員の受講申込の案内について

・介護支援専門員の受験推進についてメルマガにて配信済

■（吉村理事）

介護支援専門協会の理事会報告

■組織委員会（柴山理事）

・準会員入会パンフレット作成・入稿済みの報告

・7/5 森ノ宮医療学園での業界説明

■編集・情報化委員会（喜多理事）

・いかなごう138号～141号発行・Fresh 8月発行予定

■財務（北川理事）

・6/10、24、7/8 財務作業

・事業復活支援金100万円入金の報告

■民生労災委員会（森下理事）

・6/6、7/7 生保労災審査会・相談会

・6/16、17 国保連審査会出席

・7/7 国保連から課長を含め3名来館され、疑義
解釈資料に関して相違の為ペンディング義

■普及啓発委員会（三宅理事）

・7/10 河南地域の勉強会「からだのセルフケア」

（自身の身体を知る、身体の使い方・動かし方）を開催

・大阪聴力障害者協会より「第49回ろうあ者スポーツ大会」
（2022年8月28日）への派遣依頼があり2名手配

・吹田地域 令和5年度「みんなの健康展」（令和5年
9月10-11日）開催予定

・高槻シティハーフマラソン大会

（令和5年1月22日）派遣依頼

・河内長野シティマラソン大会

（令和5年1月15日）派遣依頼

・東洋医療学校協会より「要穴カルタ大会」実施にむ
けてご相談頂きました

・大阪マラソン実行委員会の方と7/25面談予定

IV. 議 案

第1号議案 会員動態（柴山）

・正会員：1名（再入会者）

・準会員入会申請：22名

（名前・所属・卒後年次について数名確認中）

・登録事項変更：2名

・退会届：2名

上記について全会一致にて承認

第2号議案 役員選任規定の改定について（久保）

総会質問にて理事立候補の推薦人撤廃の提案があったので審議
いただきたい役員選任規程の推薦者について「理事5名ま
たは会員20名」を「理事3名又は会員10名」へ変更全会
一致にて承認

第3号議案

要穴カルタ大会の件（普及啓発委員会：三宅理事）

東洋療法学校協会より2年ぶりに要穴カルタ大会を開催する
との連絡があった。参加する学生に対して、日本鍼灸師会、
大阪府鍼灸師会への入会に繋げる場としたい。従来通り、主
催を日本鍼灸師会、協力を大阪府鍼灸師会の体制で実施して
頂きたい。日本鍼灸師会で主催、及び運営予算の一部負担に
ついて審議して頂きたい全会一致で承認

第4号議案 委員会職務内規改定及び組織図修正の件（久保
理事・喜多理事）

スポーツ鍼灸プロジェクト委員会について委員会職務内規に
明記するとともに、組織図を現状に合わせて修正した上で、
新規に作成したいのでご審議いただきたいスポーツ鍼灸プロ
ジェクト委員会の設立日に遡及、編集委員会・情報化委員会
を別表記した上で新規組織図に変更するということで全会一
致にて承認

第5号議案

日鍼会全国大会のテーマ案について近畿ブロック主催日鍼
会全国大会について、大会テーマ案・サブテーマ案を近プロ
会議に上程するために討議・決定したい

・メインテーマ案「伝説のカーニバル」

・サブテーマ案「バック・トゥ・ザ・鍼灸」「つなぐ、輝く、
伝統医療」上記で近畿ブロック担当に上程予定

第6号議案

日鍼会サイトのマイページ機能の担当者について情報化委員
長喜多先生に決定

V. 閉会の辞 （喜多理事）以上

会員動態

令和4年6月会員数 693名（うち準会員205名）

・新入会員（再入会）天王寺地域 まなべ鍼灸治療院 真鍋恵美子

・登録事項変更

河南地域 村上鍼灸整骨マッサージ院 村上明(施術所住所変更)

北地域 黄龍堂鍼灸院 石原義久(自宅・施術所住所、施術所名変更)

・退会（体調不良、閉院、高齢、介護部門へ組織拡充など）

淀川地域 堀越邦夫

東住吉・平野地域 澤田幸司

生野地域 御宮知靖晃 ご逝去

東大阪地域 市村弘美